

令和6年第10回田原市教育委員会定例会

1 開会 令和6年10月22日 午後1時30分

2 閉会 令和6年10月22日 午後2時 8分

3 会議に出席した委員

田中早苗教育長職務代理者、太田孝雄委員、高崎佐智江委員、田中智和委員

4 会議に欠席した委員

5 会議に出席した職員

教育部長

増田直道

教育総務課長

川口 崇

学校教育課長

峠 尚良

生涯学習課長

山田達也

スポーツ課長

鈴木雅也

文化財課長

天野敏規

図書館長

是住久美子

教育総務課長補佐兼係長

木村真一

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 令和6年10月22日（火）

午後1時30分

場 所 市役所南庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

（1）教育委員連絡報告事項

（2）令和7年度予算編成方針について

4 その他

教育長	開 会 午後 1 時 30 分
	それでは、失礼いたします。皆さん、こんにちは。 本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。
	会に先立ちまして、改めてご紹介をさせていただきますけれども、ご案内のとおり、田原市議会 9 月定例会におきまして、教育委員としての任期が 9 月 30 日をもって満了となられた金田真也委員の後任として、田中智和さんを教育委員に任命することについて、市議会の同意を求める議案が市長から上程され、同意の議決がなされました。 田中さんの任期は令和 6 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日までの 4 年間となります。よろしくお願いいたします。
田中智和委員	田中智和委員には、先日市長から教育委員の辞令が交付されたところであります。 それでは、改めまして就任された田中智和委員から、ごあいさつをいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
	皆さん、こんにちは。 10 月 1 日より教育委員ということで、任命していただきました神戸町の田中智和です。 分からないことも多々ありますが、自分にできることを一生懸命探して、力いっぱい努めたいと思います。
教育長	よろしくお願いいたします。 ありがとうございました。 それでは、会を始めさせていただきます。 ただいまの出席者は 5 名であります。 定足数に達しておりますので、令和 6 年田原市教育委員会第 10 回定例会は成立いたしました。 これより開会いたします。
教育長	はじめに、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者を指名させていただきます。 今回の署名者として、太田委員と田中智和委員にお願いをしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
教育長	それでは議題に先立ち教育長報告を、私からさせていただきます。 要綱の 2 ページをお開きください。9 月 25 日の第 9 回の定例会以降、そのような行事に参加してまいりました。 9 月は非常に行事の多いときで、土日にも大抵何か行事が入っております。それらを中心に抜粋してお伝えしたいと思います。 まず、9 月 26 日に田原中部小学校の 2 学期の学校訪問が始まりました。

た。これは終日にかけて行われる昔の指導活動訪問といわれるものなのですけれども、このほかにも、そこから後ろにある教育活動視察、半日の学校訪問については、4人の教育委員さんにもご出席を願って、指導をお願いしているものです。

学校のことについては、自分たちは事務局とともに指導をしますが、教育委員さんたちは自分たちとは違う一般の立場でご意見を述べていただけるとありがたいと思いますので、自由に本当に思うがままによろしく願いいたします。

それから、9月28日には第1回渥美半島花火大会。これはテレビでも放映されておりましたが、第1回ということで非常に評判が良かったと聞いております。

9月29日に市町村対抗駅伝の選手の顔合わせ会がありました。これは12月7日の本大会に向けたもので、今、土日をかけて陸上大会の指導のもと、着々と強化練習が進んでいる状況です。

それから、10月4日、田原市の中学生の海外交流視察の出発式。これはジョージタウンに視察に行ったもので、無事出発をし、そして1週間後の10月9日に無事帰ってまいりました。ほぼ予定通りでした。子どもたちの表情も良く、非常に楽しく有意義であったと言ってまいりました。

10月5日から中学校の新人体育大会が始まりました。また、博物館では川瀬巴水の企画展が始まりました。皆さんにも、ぜひまたしっかり見ていただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

10月6日、第20回田原市スポーツギネス大会が総合体育館とはなのき広場で行われました。実はこの日は、近くでお祭りがあったのと、それから白谷ではオフロードトライアスロン、渥美のほうでは、あつみにコンサートという、非常に行事が重なった中ではありましたが、それでもギネス大会は事務局が目標としていた300人をなんとか超える人数を集めて行うことできたということでした。参加者も非常に自分の体を動かして自分の限界に挑戦していい表情でやっていたので、今後もなんとか継続していきたいと担当者は言っていましたので、よろしくお願いいたします。

それから、一番下、10月12日に田原福祉グローバル専門学校の学園祭であるたっぷく祭が行われました。グローバル専門学校は、田原市の教員のOBである石川先生が校長をやっておられるところなのですが、日本語学科というのを新しく設けて、非常に海外留学生をたくさん受入れております。

その子たちが、いわゆる東南アジア系のフィリピンとか、ビルマとか、インドネシアとか、そういうような国際色豊かな学園祭となっ

	て、非常に来る人たちも多かったと思います。 学生たちとも話し合いましたが、寂しくないかと聞いたら、寂しいけど頑張るといった感じで非常に好意的に日本と捉えておりましたので、またぜひ来年機会がありましたら顔を出していただきたいと思います。 それから裏面にいきまして、10月14日、福寿園で野外フェスが行われました。これもまたすごい人が詰めかけまして、かなり盛況でした。 ここにもやはり先ほどの福祉専門学校の子たちが来て、ボランティアということで、おじいさん、おばあさん、車いすを引いたり、手を取ったりと、大変よく献身的にやっていたと思います。 簡単ではありますが、教育長報告を以上で終わらせていただきたいと思いますと思いますが、自分が説明したところ以外でも構いませんので、何か質問があったら、よろしく願いいたします。
田中早苗委員	中学生海外旅行交流視察についてですけど、これの人員の選出については、各中学校での定員があるのか、田原市としての定員があるのか、教えてください。
教育長	今回、中学校では選んでおりません。 いわゆる国際交流協会にお任せをして、そちらで選んでいます。 その結果、今年は東部中2、田原中4、赤羽根中1、福江中1の編成に確かなっております。
田中早苗委員	こちらがこうするだとか、中学校のほうからこうするというのは一切しておりません。
教育長	ありがとうございます。 はい。そのほか、よろしいでしょうか。 それでは、質問もないようですので、教育長報告を終わります。
教育長	続いて、報告事項に入りたいと思います。 はじめに、教育委員会の皆さま方からの連絡、報告事項を順次お願いしたいと思います。
田中早苗委員	それでは、田中早苗委員からよろしく願いいたします。 お願いします。 9月28日に、高校2年生の息子とサクソフォンコンサートを聴いてきました。 息子は先日の成章祭で吹奏楽部のステージを見て、音楽の楽しさを再確認したそうです。息子が小学校のときに音楽部でチューバを担当していましたので、金管楽器に興味がありましたが、サクソフォンは金色にきらきらしているのに木管楽器と聞き、母は驚きましたが息子は当然知っていたようです。

教育長

太田孝雄委員

聴いたことのある曲や、初めて聴く曲があつて、音楽会という敷居が高いイメージですが、曲の合間のトークで気さくな感じで豆知識を教えていただき、楽しくとても良い時間が過ごせました。

次に、先月と今月で、息子たちが在学する高校や大学の学園祭を見ってきました。やっぱり私立ですとクラス数も多いので、とても賑やかで、大学のほうは生徒主体というか、ステージ発表を設けていたのですけれど、大学生のジャズコンサートで、親世代の喜ぶような曲が演奏されたりして楽しかったです。

成章祭についてですけれど、今年度は木曜日と金曜日が公開になっていて、そうすると今まで招待されていた中学3年生が行きづらい感じがしましたので、できたら金曜日、土曜日に戻していただきたいと思います。息子が言うには、土曜日が運動部の大会とかち合ってしまうので、そういう配慮で曜日をずらしたのではないかということです。教員の方に聞いたのではないので、確かではないです。

以上です。

はい。ありがとうございました。

それでは、太田委員よろしくをお願いします。

はい、お願いします。

私もこの間、教育委員としては特別に出ることもなかったのですが、先ほど田中早苗委員の言われたサクソフォンコンサートと、博物館の川瀬巴水展の2つ行かせていただきました。

サクソフォンコンサートについては、アーバンサクソフォンで、アーバンというのは都市というだけかと思ったら、洗練されたという意味もあるそうで、大変格式の高い芸術だと思いました。

これは先ほどの教育長の報告にもありましたように、公共ホール音楽活性化支援事業ということで、保育園、こども園や、中学校のほうへも行つて、演奏、交流等されたということで、子どもたちにとっては、音楽でも専門的な部分だと思うのですけれども、こういうところを子どもなりにいろいろ吸収できる大変いい機会かと思いました。

それから、川瀬巴水展については、私もこういった版画というと、北斎、広重の世界や、江戸時代の浮世絵しか知らないのですが、新版画ということで、これが版画かと思うくらい緻密で大変素晴らしく、特に私が時々行く奈良や京都のお寺の風景もありまして、特に私は風景面に惹かれました。

教育委員会場でご紹介がなければ、なかなか足も運びにくいですが、招待券もいただきましたので行つてきて、大変芸術の秋にふさわしいひと時を過ごさせていただきました。どうもありがとうございました。

以上です。

教育長

はい。

それでは、高崎委員よろしくお願いします。

はい。失礼します。

私は教育委員としては10月8日の高松小学校、そして個人的にたっぷく祭にお邪魔をさせていただきました。

はじめに、10月8日の高松小学校から申し上げます。

全体的に整理整頓がされていて、とても穏やかで落ち着いたお子さんたちだったと思います。そして一番感じましたのが、校長先生のきめ細やかな優しさをすごく感じました。

先生方がどなたものびのびとしていらっしゃっておおらかで、それがお子さんたちにいい影響を与えられるのではないかとお察しいたしました。

少人数でしたので、例えば教室に置いてある学習教材だったり、かるただったり、こうしたものを一人ひとつ手に取れたりとか、あとは自然に恵まれている。そして、地域のコミュニティの方たちが一緒にお子さんたちの成長を見守るという環境が、とてもできている小学校のようにお見受けいたしました。

あと一点、俳句を最初に読んでいただいて、小学校2年生の俳句とは思えないような素敵な感性の俳句を詠んでくださいました。

俳句に力を入れていらっしゃるということで、私も5年経ちましたので、行く先で一つずつ楽しみを見つけ、そういった時間と、お子さんたちとの関わりが少しでもできたらいいなということを発見いたしました。

そして最後に、やはりこうしたのどかなスモール小学校ですと、担任の先生の力量が、お子さんたちの伸びに大きく関わっていくのではないかと新たに認識した次第です。

そして次に、たっぷく祭です。先ほど教育長のお話からもございましたけれども、本当にアジアの方が多くて、そのときに、やはり自分も年齢なので、先のことを考えてしまって、もしかしたら私たちが介護してもらうのは、世代的にアジアのお子さんかもしれない。でも、とても素直で一生懸命でいらっしゃる。ここがすごく胸を打たれるということと、あと子育て中のお父様、お母様方、お家の方に知っていただきたいのは、アジアの方がいらっしゃるということで、福祉以外にも異文化体験ができる場というところです。

この異文化と言いましても、お衣装もそうでしたけれども、食にありということもあって、各国のご飯を売ってイまして、少し残念だったのが買って帰れなかったところであります。

そうすると、うちの食卓もその日はアジアで楽しめたのではないかと考えております。

私の貢献できることはパンを購入したり、お菓子を購入したり、そういったことだろうと思いましたので、一生懸命に関係機関の方が作

教育長

田中智和委員

られたものを購入して帰りました。

最後にお茶席に行かせていただいて、その中にアジアの方がいらっ
しゃって、こうしたところも今の若い子育て中の方にお出かけいただ
くと大変学ぶことが大きいのではないかと。充実した日になりました。

以上です。ありがとうございました。

ありがとうございました。

それでは、最後になりますが、田中智和委員よろしく願いしま
す。

はい。お願いします。

私からは、4点ほど。

まず、10月18日に田原東部中学校の学校訪問に行かせていただきま
した。教員の平均年齢38.1歳と若くて、子どもたちとの距離感が近い
感じが本当に楽しそうに授業を行っているクラスが多くて、非常にい
い雰囲気で学校生活を送れていると感じました。

私、教育のことは分からないので、実際に保護者として、雨の日の
送迎のルートについて、ほかの保護者の方からも伺って、少し意見を
させていただきました。

その日の午後、男女共同参画推進懇話会に参加させていただきました
。オブザーバーの檜村先生のお話は、デビュー戦の私には常にグー
グル先生に聞かなければ分からない位いろいろな話がありまして、大
変勉強不足を感じながら、いろいろな世界があると感じました。

そして、私が言えたのが、虎に翼という連続ドラマがありまして、
そちらでちょうど夫婦別姓の話と、ジェンダーについての話が100年
も前のドラマの内容なのに語られていて、それをやっと今になって私
たちは知っているということを感じて、こちらを発言させていただきました。

変わって、10月19日、野田小フェスティバルに参加させていただきました
。生徒数が94名と決して大人数ではないのですが、その分全体
で行う合唱には迫力がすごくあって、各発表も校長先生を交えたりし
て、非常に楽しい発表ばかりで、とても楽しい学校だと感じました。

最後に、10月9日に、川瀬巴水展に妻と行かせていただきました。
私の家系も、妻の家系も絵心が全然ないので、教えられても描けな
い、説明されても分からない。版画と言われても信じられない位の素
敵な絵で、雨の描写も全然分からない。妻とどうやるのかという話ば
かりで、ただただ感動するばかりの時間を過ごさせていただきました。
ありがとうございました。

以上になります。

教育長

はい。ありがとうございました。

また教育委員さんには、積極的な情報の収集をよろしく願いしま

す。

それでは次に、報告事項の（２）令和７年度予算編成方針について事務局から報告をお願いします。

はい。それでは、これについて私のほうから報告させていただきます。

資料の４ページをご覧ください。こちらの通知文が総務部長から各部課長に対しまして、来年度、令和７年度に予算編成方針を示されましたので、よい機会でございますので、委員さんにご紹介ということで、ご報告をさせていただきます。

まず、この順番が、記１の財政の見通しと、２の予算編成の基本方針、そして次のページの３の重点施策、それから４の予算編成方法、５の指示事項という形で大きく分かれておりまして、本来これに職員が予算要求要領というもっと細かいのが出るのですが、これは割愛させていただきましたので、お願いいたします。

それでは４ページにお戻りください。簡単に説明させていただきます。

１つめの財産の見通しとして、国の状況については、またご覧いただきたいと思うのですけれども、２つ目のまるの本市の財政の状況の確認ですが、まず歳入では、市税収入は、製造業中心に堅調ですということ。ただし、先行きが不透明な状況にございますということ。

歳出ですけれども、削減困難で、いわゆる社会保障の関係ですとか、情報システム関連経費、あと老朽化した公共施設の長寿命化。これはうちの施設が一番大きな課題です。

それから、災害に対するインフラの強靱化な費用など、非常に大きな歳出が見込まれているものですから、効率的かつ効果的な財政運営が求められていますという認識が、財政見通しで立っております。

２つめの予算編成の基本方針として、内容についてはご覧いただくとして、最初のまるとしては、総合計画及びデジタル田園都市国家構想総合戦略の着実な実施ということが、まず一点。

市のほうは、この総合計画というものが、いわゆる計画を作る源ですから、これに基づいて実施するという指示です。

それから、次のページの５ページですけれども、社会情勢の変化に対する取組ということで、今話題になっているデジタルトランスフォーメーション（DX）ですとか、グリーントランスフォーメーション（GX）、少子化対策・こども施策など、こういった課題への取組を加速するというので、これについては優先的な意味を含めて財政としては、予算を執行するかもしれないというニュアンスです。

次のまるの、公共施設・インフラにおける適正管理の推進ということで、将来にわたって公共サービスを持続的に提供するには、どうしても公共施設がいるものですから、市としては公共施設等総合計画に

基づきまして施設の整備を進めていますので、こういったことを進めていきますということになります。

この部分が、本市の教育委員としては、学校施設の長寿命化ですとか、体育館のエアコンとか、また社会教育で文化ホールとか、博物館、図書館、そういったものも全て関係していますので、教育委員会にとって、これが大きな予算執行、予算編成のポイントになるかと思っております。

最後のまるの、持続可能な行財政基盤の確立については、後ほどご覧いただければと思います。

3つめの重点施策として、これは、先ほど申しました基本方針を踏まえて重点施策を展開していくので、最初のまるとして、住み続けたまちづくりということで、人口減少に適応した活力のあるまち。

次のまるが、住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり、地域ブランド力を高めた魅力あふれるまち。

3番目のまるが、未来につながるまちづくり、誰もが暮らしやすい持続可能なまちということで、重点施策を今回3点上げております。

4つめの予算編成方法として、まるの1番目に、一般財源ベースでの要求上限額は設定しないということです。一般財源というものは、いわゆる予算を組むときに補助金とか、国の交付金が入っているのですけれども。またはいろいろなもの。その財政を減らす、それとも除いた市の出すお金ベースで要求上限設定しないということは、市のほうとしてはシーリングとあって、最初から部ごとにいくらまでという枠を組んでいたわけですが、二年ほど前からシーリングを外しまして、それぞれの個別策定方式とあって事業の額を出していく形になっていますので、こういった上限を設けずに個別策定方式を取っていますということが書いてあります。

5つめの指示事項としては、長くなりますので、後ほどこれについても、それぞれの委員さんでご覧いただければと思います。

最後ですけれども、このようなことを踏まえまして、10月25日が予算要求の閉めということになっておりまして、10月31日から各部課の予算ヒアリングが全庁的に行われて、12月下旬には内示があります。

2月に市長の定例記者会見の席で、議員さんとか、マスコミとか、あとコミュニティ教育機関に、予算のこの辺の状況が発表されていきますので、できましたら来年2月の教育委員会定例会におきまして、予算状況を皆さんに報告をできたらと考えて、このスケジュールをもって臨んでおりますので、ご紹介をさせていただきます。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

では、予算の編成の今後について、今、事務局から報告がありましたけれども、何かご質問等ありましたら、お願いします。

教育長
教育総務課
教育長
教育総務課

よろしいですか。それでは、部長が言われたとおり、これからこの編成について、いわゆる財政部局と、それから副市長と折衝があり、2月には大まかなところが出されてくるということですので、それを待ちたいと思います。

それでは、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

次にその他ですけれども、事務局から何かございますか。

はい。

はい、どうぞ。

教育総務課です。

資料の7ページ目をご覧ください。今後のスケジュールについて資料をつけさせていただいております。

教育委員出席日程（案）についてというものになります。

こちらは、本日10月22日以降のスケジュールをつけさせていただきました。次回の第11回定例会につきましては、11月20日水曜日を予定しております。時間は13時30分から、会場は本会と同じ302会議室を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

次ですけれども、12月13日金曜日、第12回定例会につきましては、南庁舎の4階の政策会議室で行う予定で、時間を16時からとさせていただければと思います。この日は会議終了後に教育委員会の忘年会を開催したいと計画したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

次に、下の表から次のページまで、教育関係イベントが記載のとおり開催されますので、こちらもまたご覧いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

教育長

よろしいですか。

そのほか、ございますか。

スポーツ課長

よろしいでしょうか。スポーツ課です。

教育長

はい、どうぞ。

スポーツ課長

スポーツ課として、4件ご報告させていただきます。

教育長も言われました10月6日、オフロードトライアスロンを実施いたしまして、参加人数が36名、完走が76名。種目は4種類、フル、ライト、スイムプラスラン、バイクプラスランという形の4種目で実施いたしました。

また、リレー形式という形で3チーム出場しまして、全てのチームが完走いたしましたことをご報告します。

10月6日のスポーツギネスにつきましては、317名の参加がございまして、各種目部門別で14人記録更新した選手がおりました。

続きまして、これから行う予定なのですが、先ほど言ったトッププ

教育長

教育総務課長

教育長

太田孝雄委員

太田孝雄委員

ロアスリートによる一流選手スポーツ教室のソフトボールが11月9日、赤羽根文化広場のグラウンドで予定されております。

こちらのほうには、江口未来子選手、山根すずか選手、相馬里砂選手、中島幸紀選手の4名が指導者として実施してまいります。

主体は市ですけれども、田原市ソフトボール協会、また協力といたしまして地域団体等で構成されます実行委員会というものを設立しまして、子どもたちのために今できることをということで、事業の運営をしていきますので、よろしくお願いいたします。

最後となりますが、お手元のほうにチラシを配らせていただきましたが、11月10日、中部・北陸実事業団対抗駅伝競走大会を実施します。

コースは、表面A3に書いてあるものですが、裏に参加チームの写真も載っております。

今回の大会につきましては、中部と北陸合わせまして、オープンチームも含めると全18チーム参加しております。中部ブロックの方は、全日本のニューイヤー駅伝の予選会が出るチームが10チームですが、内2チームは実業団登録外で除外されますので、8チーム中7チームが全日本に行く形になります。

北陸につきましては4チーム出ますが、1チームが登録外のところになりますので、3チーム中2チームが全日本に出場します。YKK、セキノ興産、高田自衛隊といういつものチームが出てまいりますので、これによって11月10日、予選会を実施いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上となります。

はい。ありがとうございます。

そのほか、ございますか。

ございません。

はい。

委員さんから何かございますか。

すみません、お願いします。

はい、どうぞ。

各小中学校に、11月3日の地区防災訓練について参加しようというプリントが保護者に配られたと思うのですが、これは今年初めてなのか、あるいは今までも配られていたのか分かりませんが、私も毎日自治会に参加していて、小中学生の参加がすごく少ないものですから、ぜひ参加できるといいと。特にこれから地域とのつながりも大事になっていきますので、また将来ある小中学生ですので、ぜひこういった自主防災訓練に子どもたちの参加を促していただけたらいいと思うのですが、今までもこういうことが促されていたのだったら、もう少し学校からもプッシュしていただけたらありがたいと思います。

学校教育課長

太田孝雄委員

教育長

が、いかがでしょうか。

今までも配布はしておりましたし、校長先生を通じてですけれども校長会等でもお願いをしています。

もう一方で、やっぱり自治会のほうにも受入れ体制というか、子どもたちも活躍できるような場をつくるのが、この訓練もより意識の高いものになってくると思うので、自治会のほうでも働きかけもあつたらいいのではないかと思います。私がやっているときには特別子どもたちの参加を促すことがなかったものですから、実際やられているかも分かりませんが、その辺りもしたらどうかと思います。

はい。ハザードマップ作るとかいろいろやっていますので、全く関係ないということではないと思いますから、また学校教育課等を通じて働きかけていきたいと思います。

そのほかございますか。

よろしいですか。

それではないようですので、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市教育委員会第10回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後2時8分

教育長

委員

委員